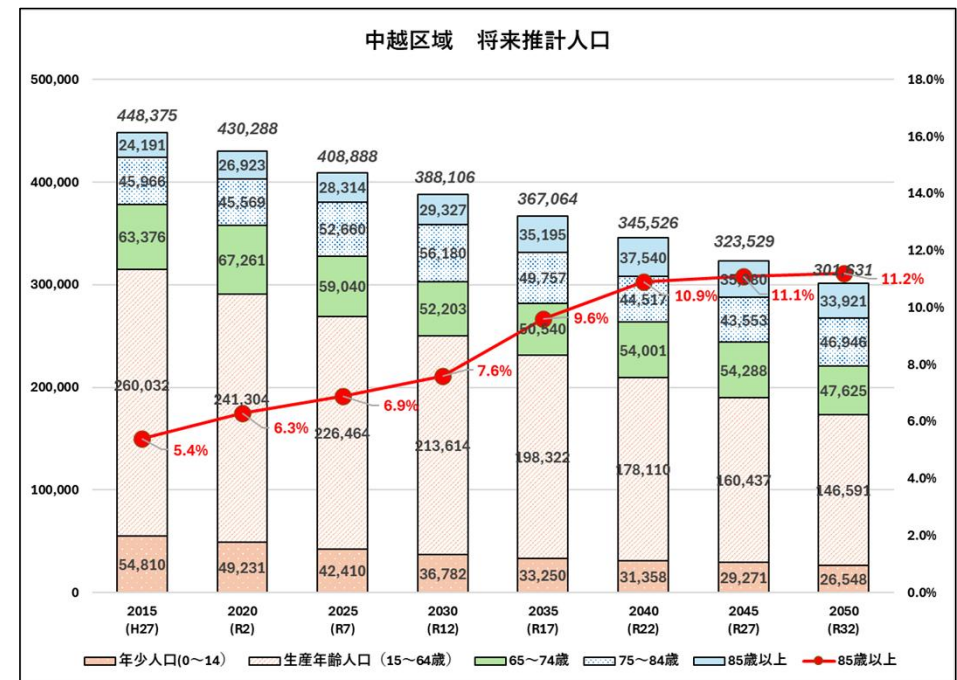
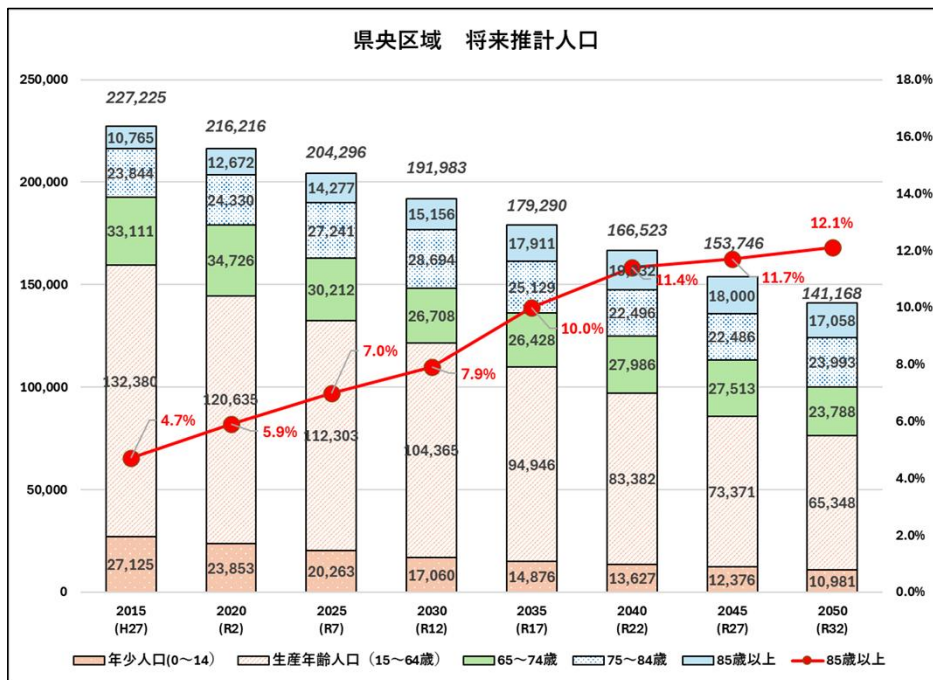
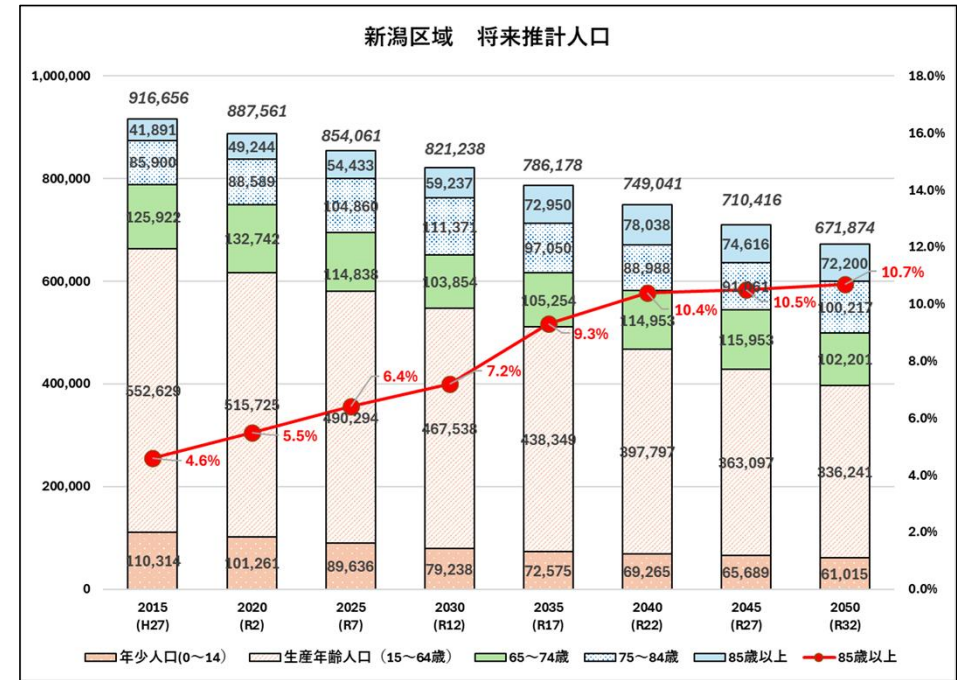
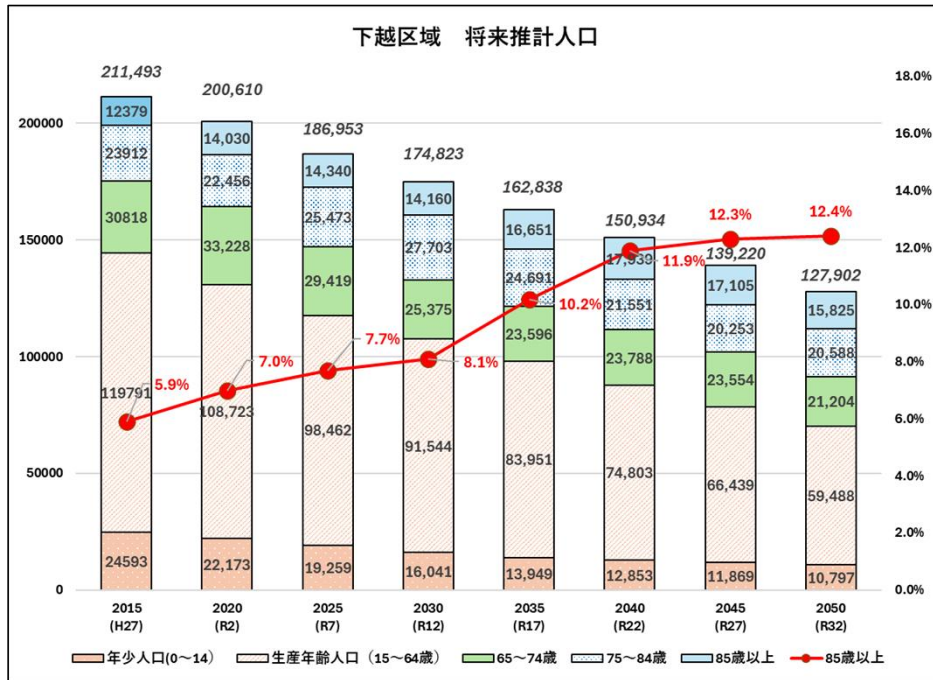


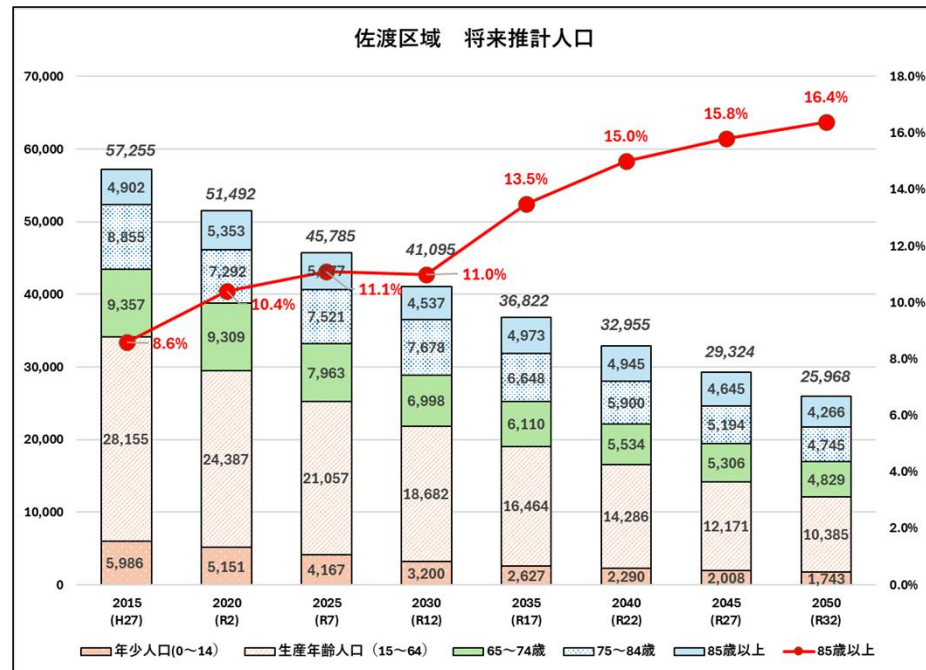
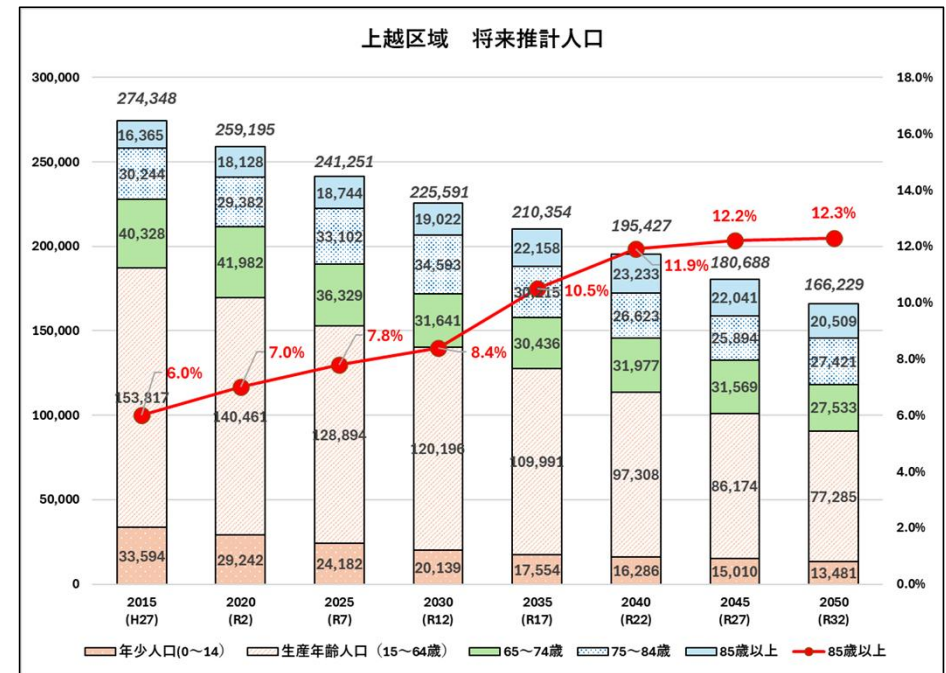
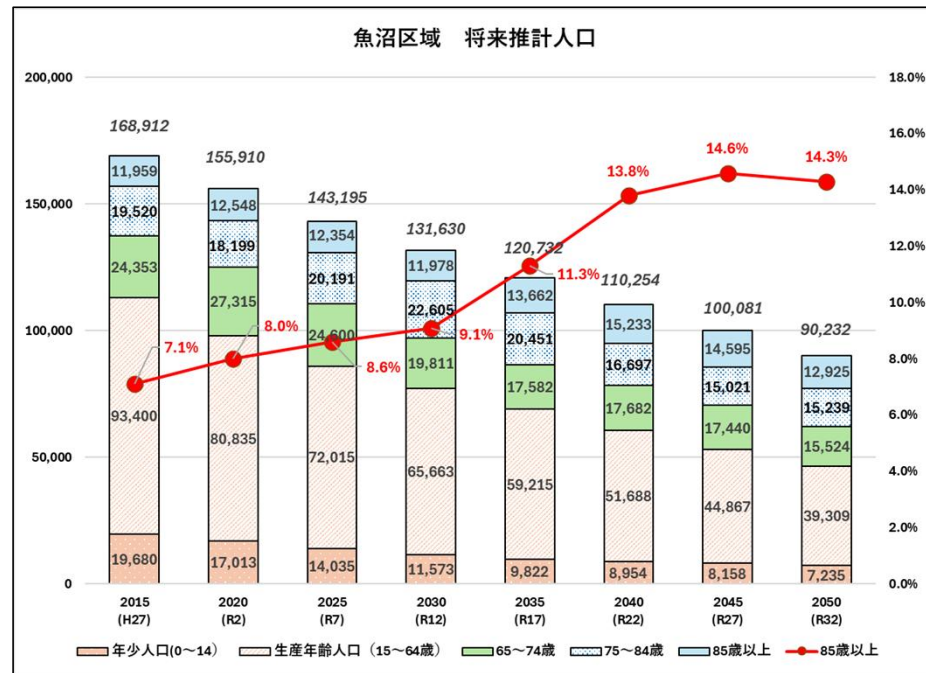
本県の医療・介護に関する基礎データ

1. 人口と高齢化の状況【各構想区域】
2. 入院・外来医療の受療率（人口10万人対の1日当たりの患者数）の推移
3. 病院数・診療所数の推移
4. 医療従事者の状況
5. 手術件数と手術実施病院の推移
6. 高齢者（65歳以上）の救急搬送の推移
7. 在宅医療を担う医療機関数・訪問看護ステーション数
8. 在宅歯科医療を担う歯科医療機関数・訪問歯科診療の実施状況
9. 訪問薬剤管理指導を行う薬局数、訪問薬剤管理指導の実施状況
10. 本県の要介護（要支援）認定者数の推移
11. 介護施設と定員と利用状況

1. 人口と高齢化の状況【各構想区域】



1. 人口と高齢化の状況【各構想区域】

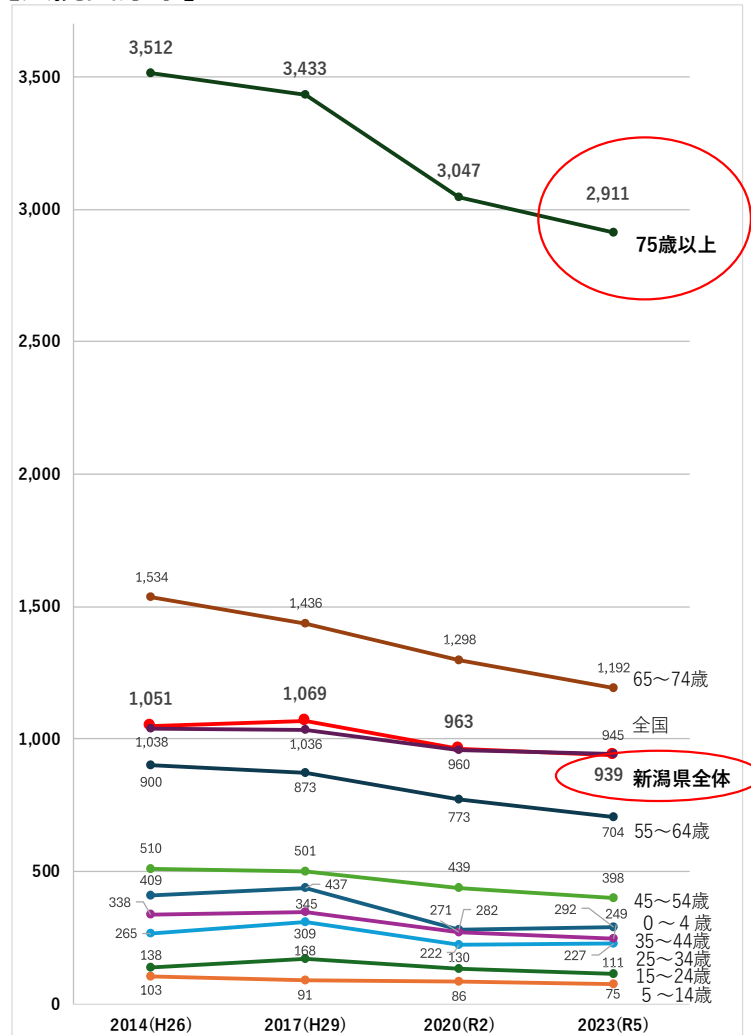


出典：国勢調査(平成27年、令和2年)
 社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

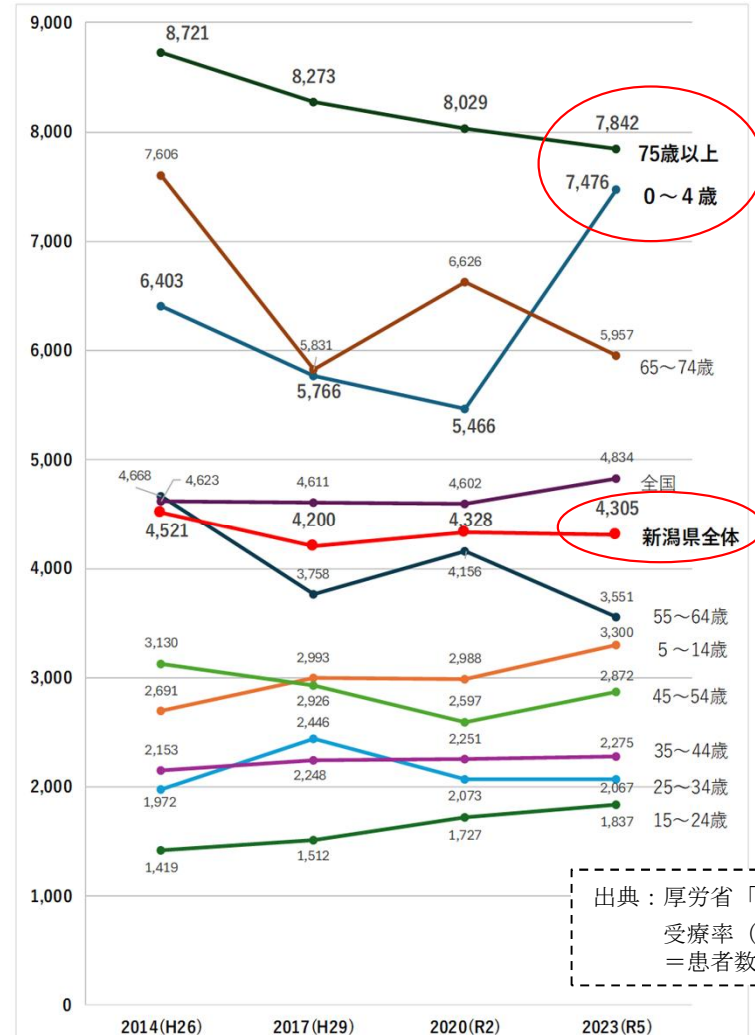
2. 入院・外来医療の受療率（人口10万人対の1日当たりの患者数）の推移

- 県全体の入院受療率は低下しており、人口減少による影響だけでなく、受療率の低下も入院患者数の減少につながっている。特に、入院患者が多い75歳以上については、在院日数の減少もあり、受療率が大きく低下している。
[75歳以上の平均在院日数] H26：51.2日 ⇒ R5：47.0日 ※厚労省「患者調査」
- 外来受療率は、県全体では大きな変化がみられない一方、75歳以上では大きく低下している。また、0～4歳では、令和2年から令和5年にかけて急激に上昇している。

【入院受療率】 (単位：人)



【外来受療率】 (単位：人)

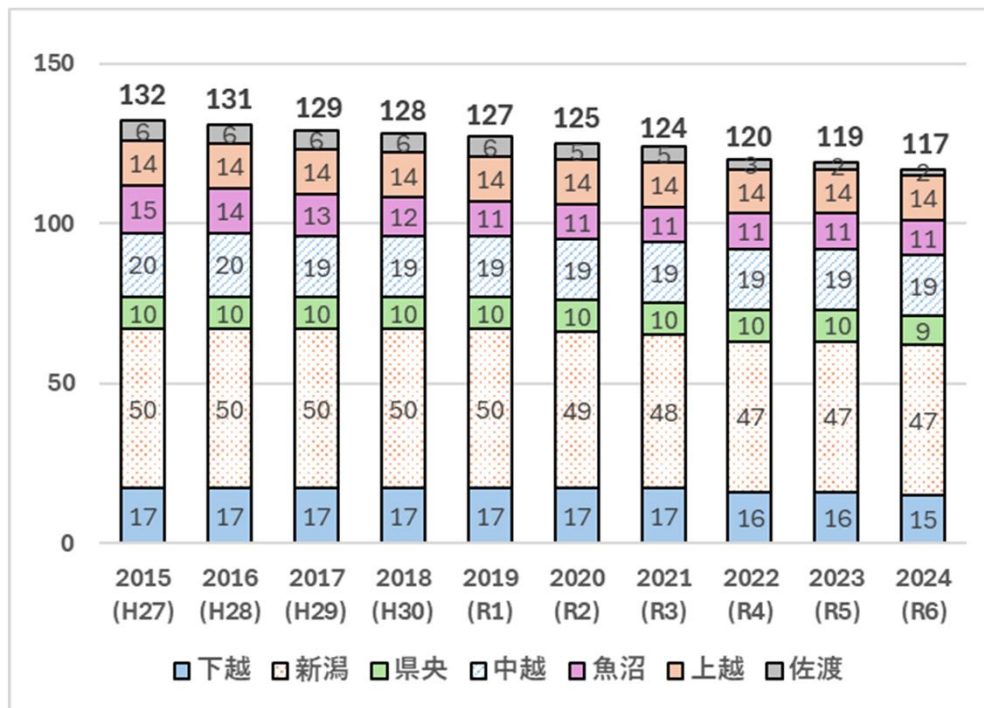


出典：厚労省「患者調査」
受療率（人口10万人対）
＝患者数／人口×100,000

3. 病院数・診療所数の推移

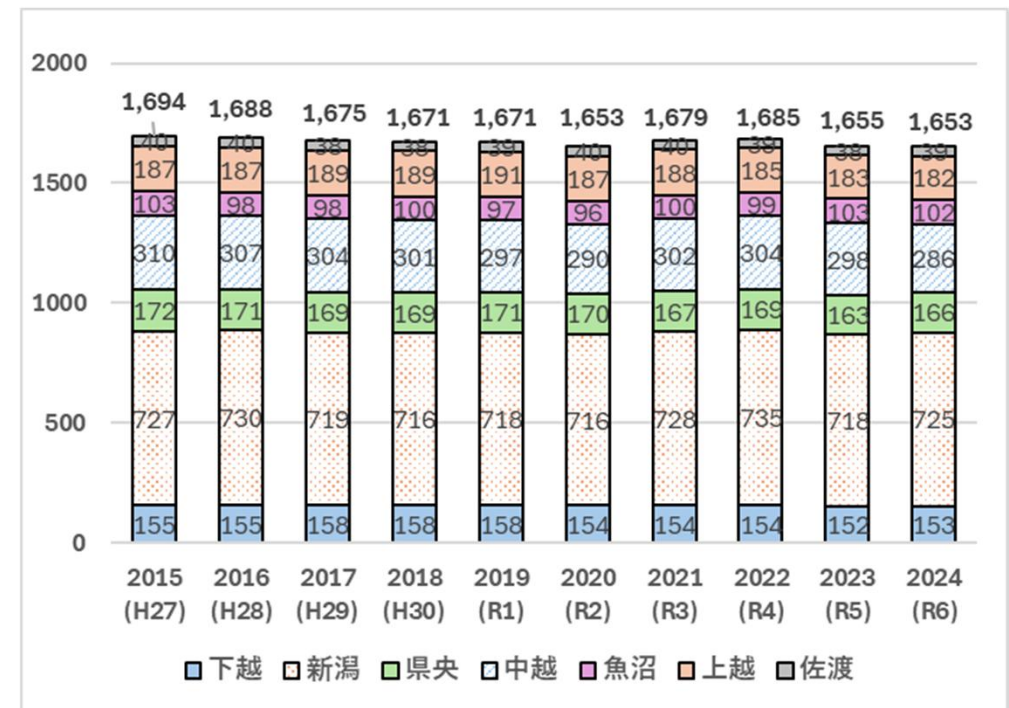
- 本県では、病院数・診療所数ともに減少傾向にある。
- 病院については、H27からR6にかけて、魚沼（15→11）、佐渡（6→2）の減少幅が大きくなっており、下越（17→15）、新潟（50→47）についても減少している。
- 診療所については、H27からR6にかけて、中越（310→286）の減少幅が大きくなっており、その他の地域は全て微減となっている。

病院数



出典：厚労省「医療施設調査（各年10月1日時点）」

診療所数

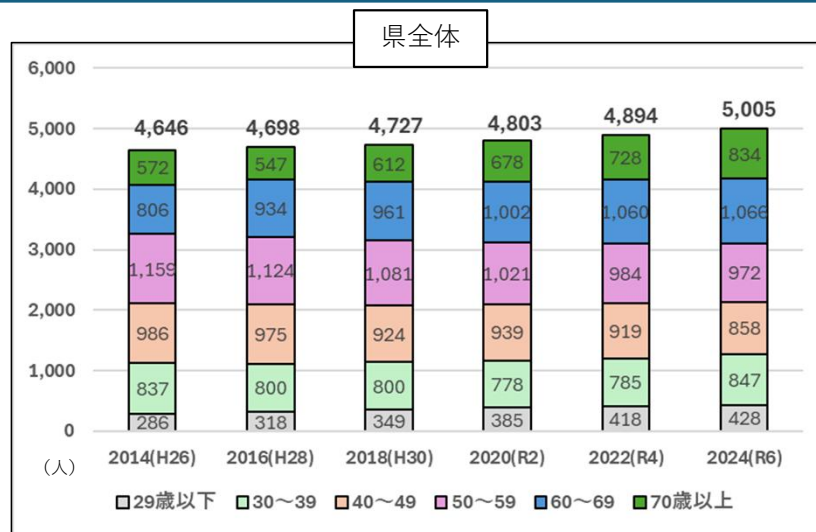


出典：厚労省「医療施設調査（各年10月1日時点）」

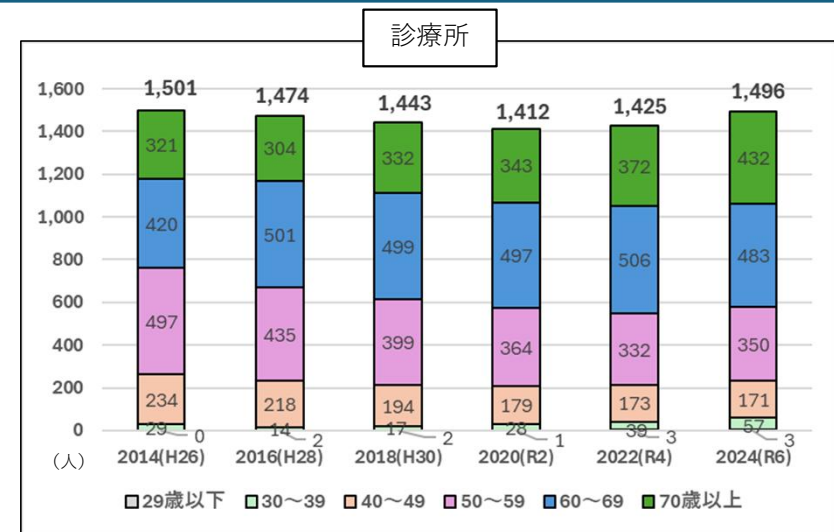
4. 医療従事者の状況

- 県全体の医師数は増加傾向にあるものの、60歳以上の医師の数が多く、40～59歳の医師が少ないことから、今後、減少することが見込まれる。（特に、診療所においては、6割を超える医師が60歳以上）
- 看護師数も年々増加傾向にあるが、50歳以上の看護師数の割合が増加している。

医師

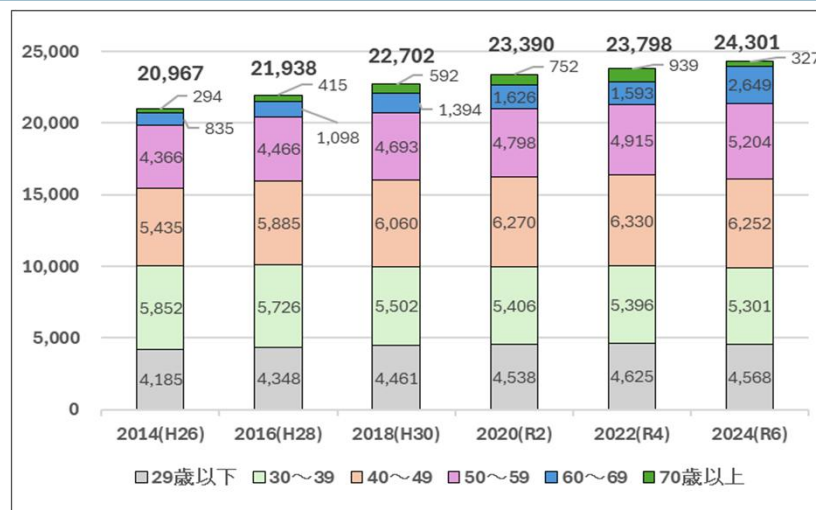


出典：厚労省「医師・歯科医師・薬剤師統計」※医療法に基づく届け出を行った医師の総数



出典：厚労省「医師・歯科医師・薬剤師統計」※左記のうち診療所に勤務する医師数

看護師

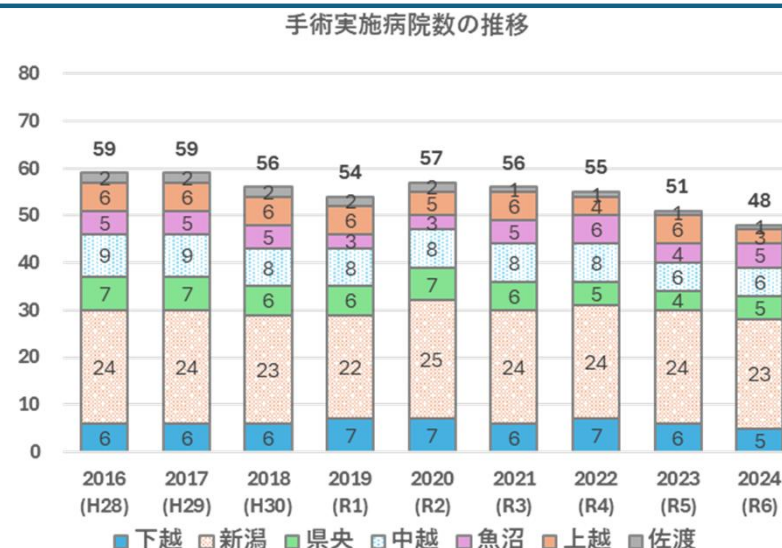
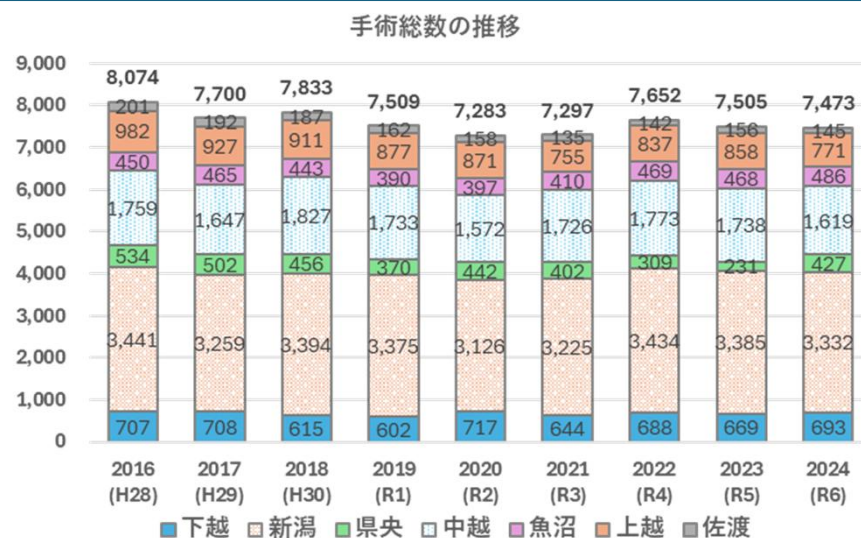


出典：厚労省「衛生行政報告例」※看護師免許を取得している者のうち、実際に就業している者

5. 手術件数と手術実施病院の推移

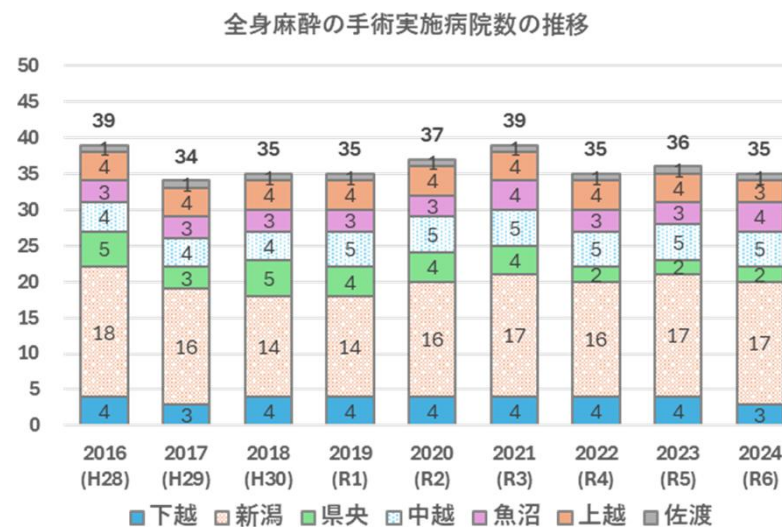
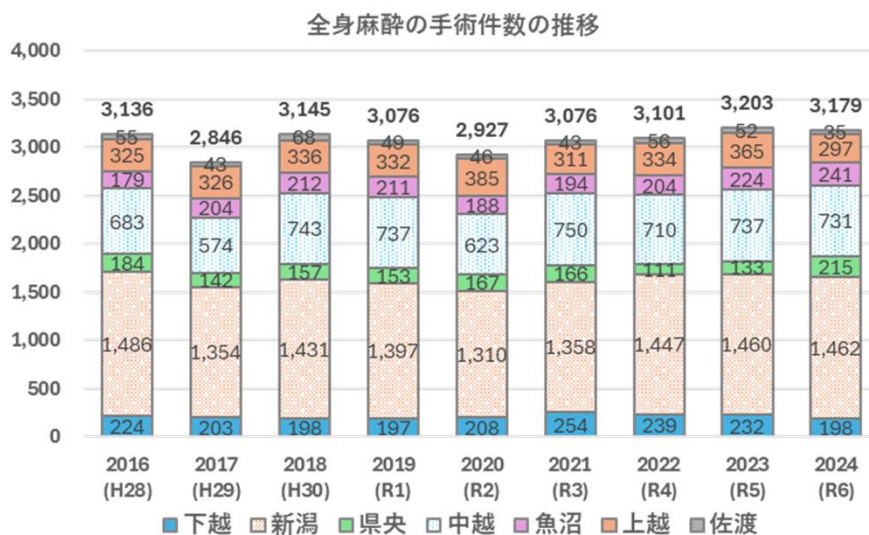
- 手術総数は減少傾向にある一方で、全身麻酔の手術数は横ばい傾向となっている。
- 手術を実施する病院数においても、総数が減少傾向にある一方で、全身麻酔の手術を実施する病院数は横ばい傾向となっている。
- 区域別の全身麻酔の手術件数をH28とR6と比較すると、中越で増加している一方、上越圏域は減少している。
- 県央は、R4、R5の手術件数が減少したが、県央基幹病院の開院によりR6に件数が増加している。

手術総数と手術実施病院数の推移（各年6月の実績）



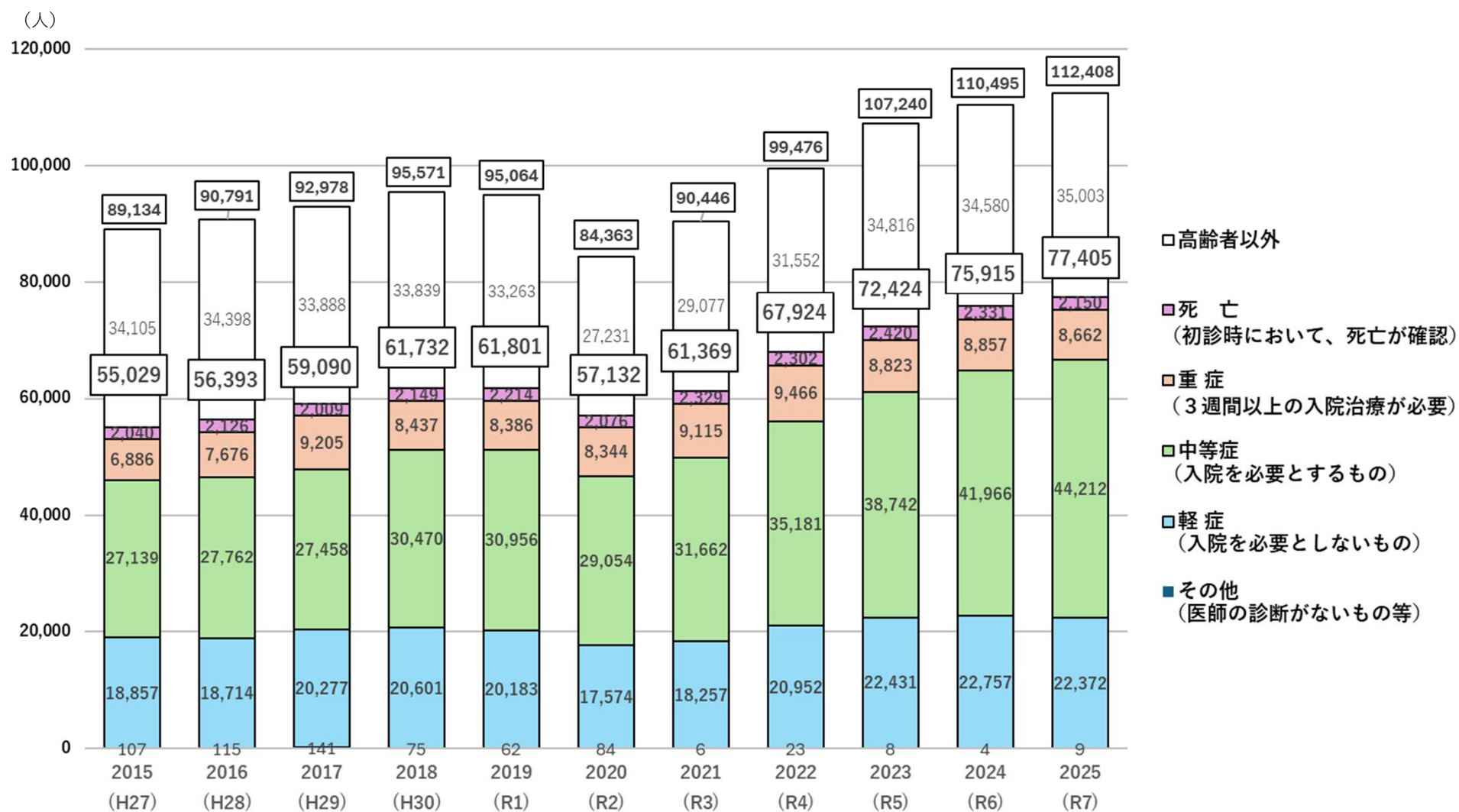
上記のうち、全身麻酔の手術件数と手術実施病院数の推移（各年6月の実績）

出典：厚労省「病床機能報告」



6. 高齢者（65歳以上）の救急搬送の推移

- 救急搬送全体に占める高齢者の割合は高い状況にある。
- また、入院を要する中等症以上の高齢者の搬送件数も増加傾向にある。

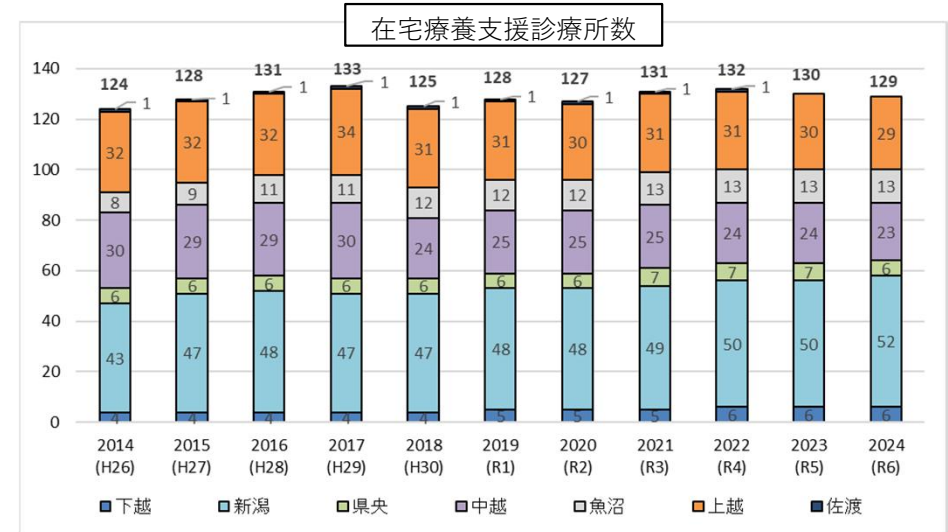
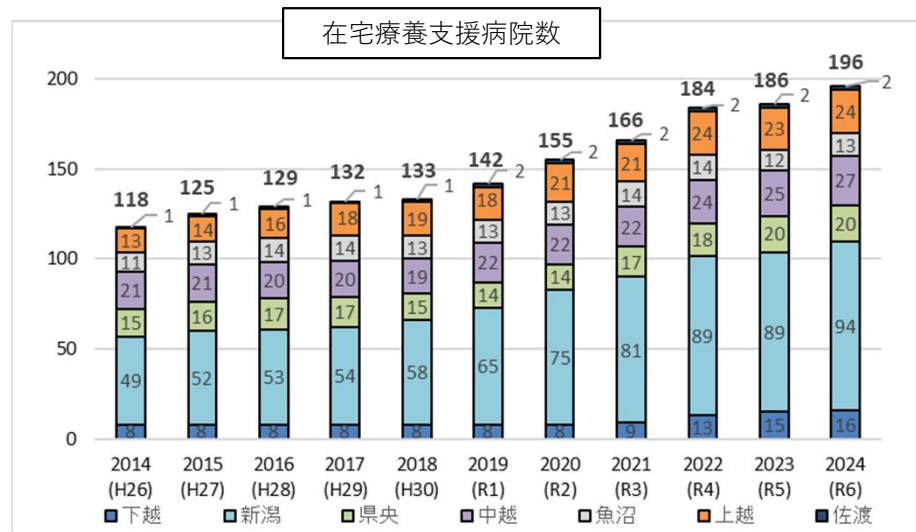


7. 在宅医療を担う医療機関数・訪問看護ステーション数

- 在宅療養支援病院の数が増加しているが、在宅療養支援診療所の数は横ばいの状況である。
- 一方、在宅訪問患者診療料を算定している医療機関は減少傾向にある。
- 訪問看護ステーションの数は増加傾向にある。区域別に見ると、新潟区域に施設が集中しており、県全体の半数近くを占めている。

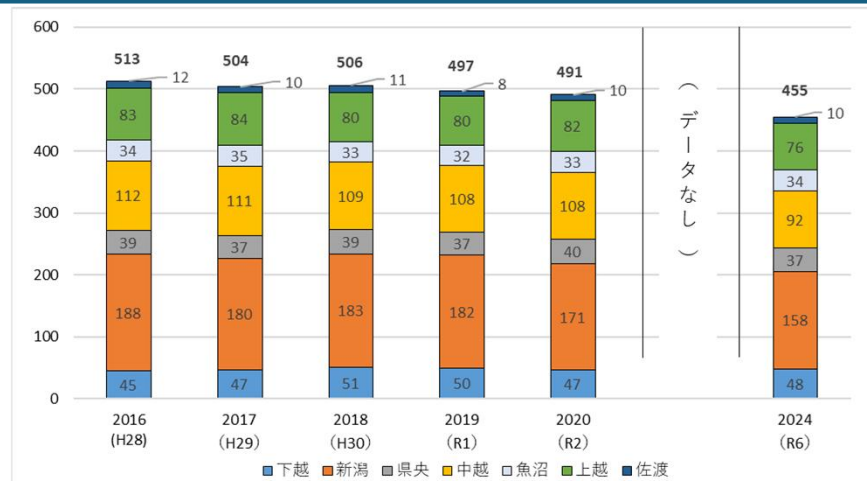
在宅医療を担う医療機関

在宅療養支援病院・診療所：24時間の連絡・往診体制等、診療報酬上の施設基準を満たす医療機関



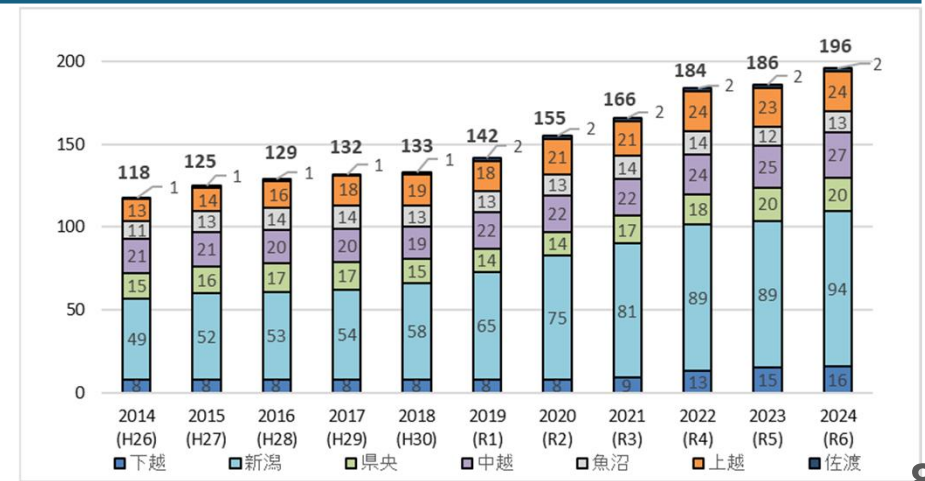
出典：厚労省「在宅医療にかかる地域別データ集」調査時点は各年10月1日

在宅訪問患者診療料を算定している医療機関



出典：厚労省2016～2020年国保DBに基づく国提供データ。2024年NDBデータから算出。調査時点は各年9月時点。

訪問看護ステーション

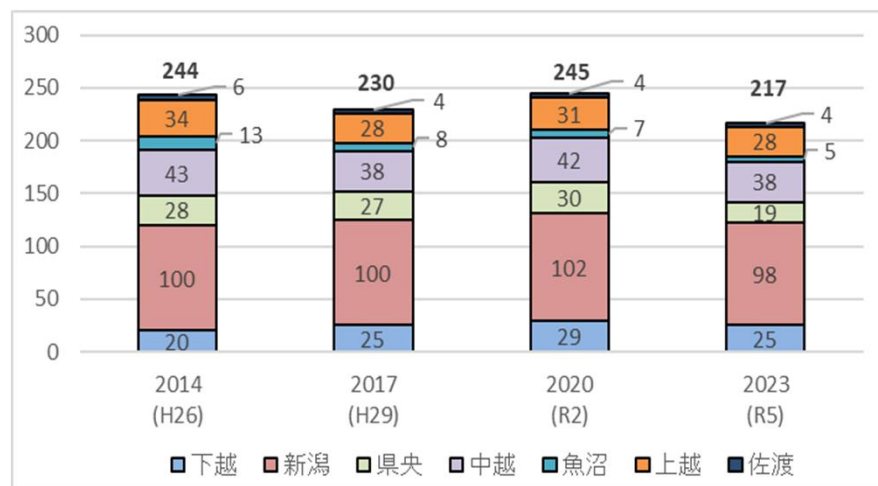


出典：厚労省「在宅医療にかかる地域別データ集」調査時点は各年10月1日

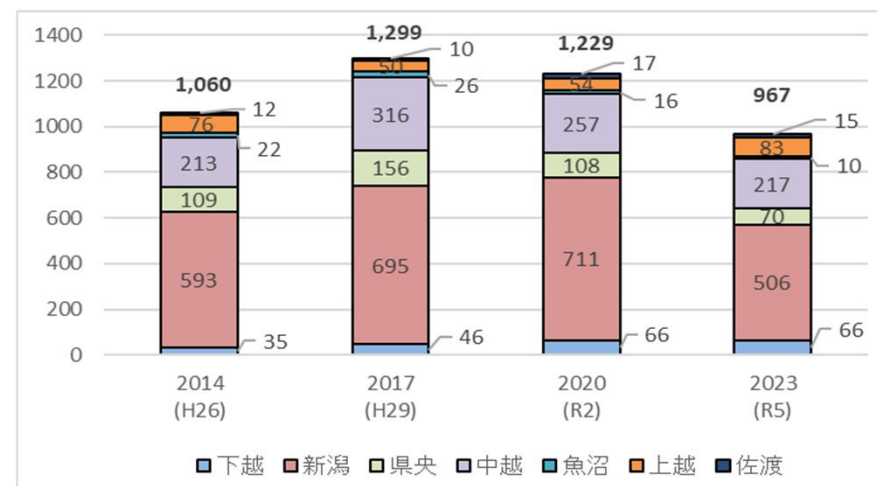
8. 在宅歯科医療を担う歯科医療機関数・訪問歯科診療の実施状況

- 居宅での歯科訪問診療を実施する診療所数及び件数は減少傾向にある一方、施設での歯科訪問を実施する診療所数及び件数は増加傾向にある。
- また、診療所数・件数ともに、新潟区域に集中しており、特に件数については、全体の7割以上を占めている。

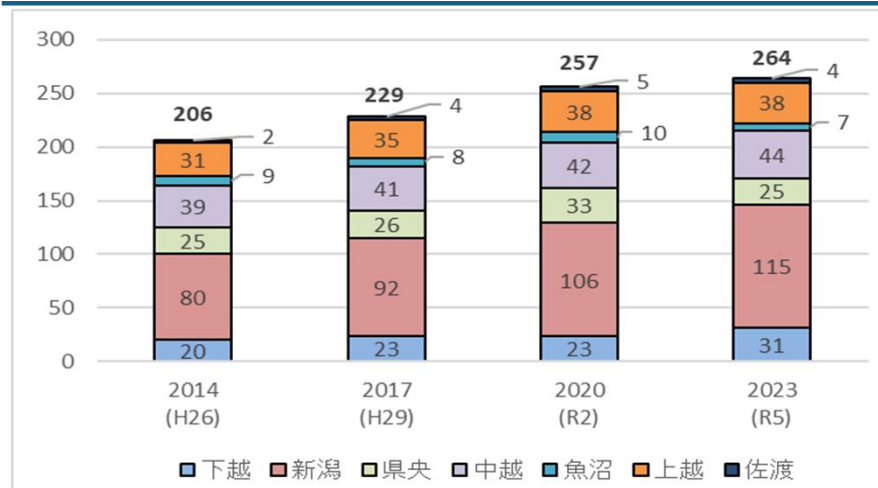
歯科訪問診療（居宅）を実施する診療所数



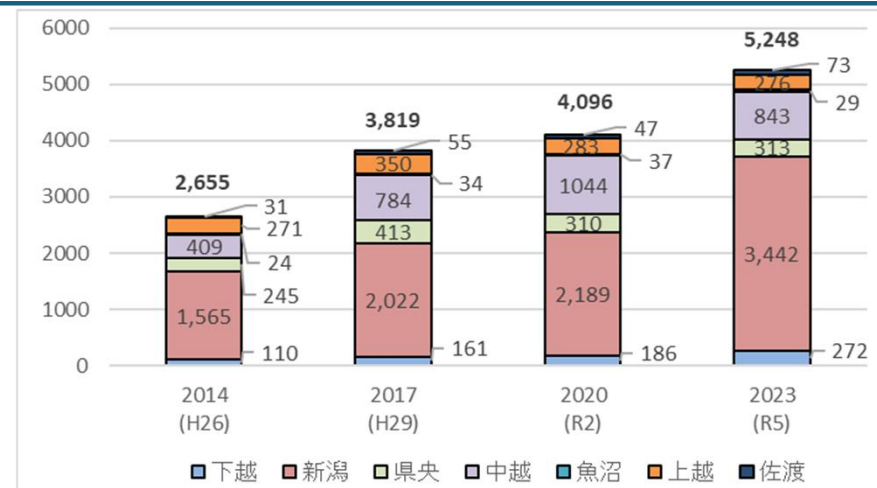
診療所が実施する歯科訪問診療（居宅）の件数



歯科訪問診療（施設）を実施する診療所数



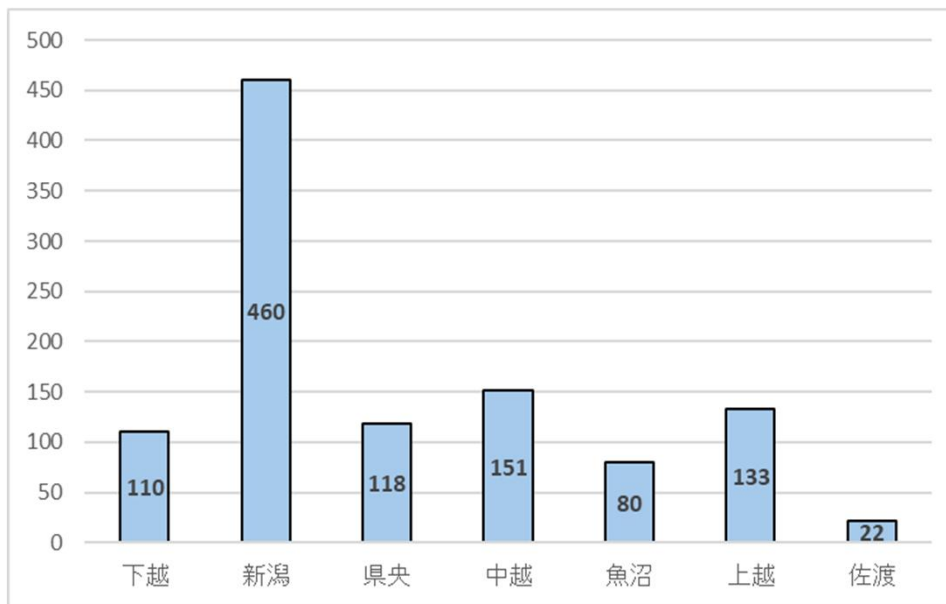
診療所が実施する歯科訪問診療（施設）の件数



9. 訪問薬剤管理指導を行う薬局数、訪問薬剤管理指導の実施状況

- ・ 訪問薬剤管理指導を行う薬局数は新潟区域が最も多く、県全体の半数近くが新潟に集中している。
- ・ 在宅患者訪問薬剤管理指導料の算定回数は増加傾向にある。

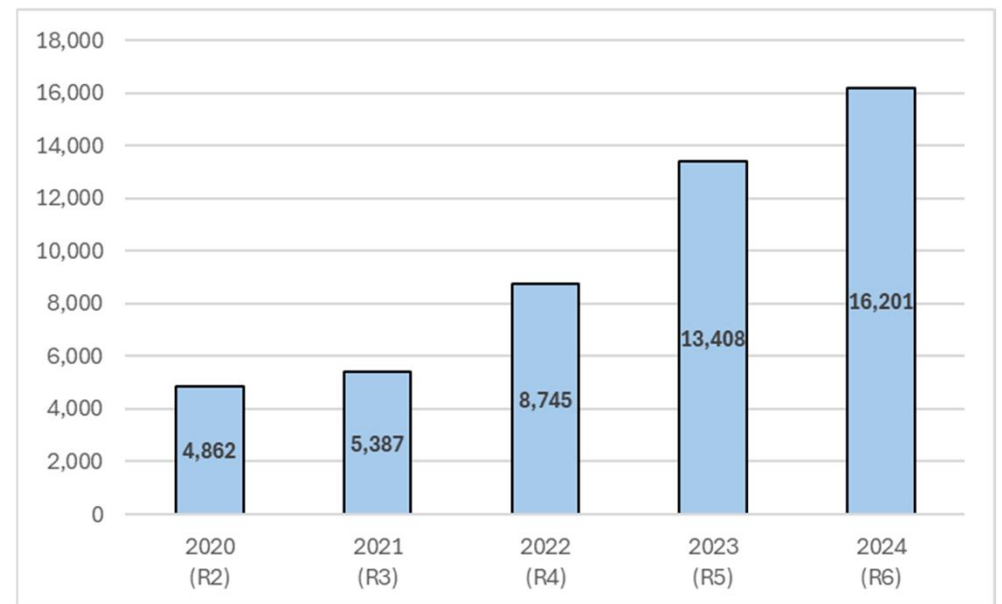
在宅患者訪問薬剤管理指導料の届出を行っている薬局数



出典：関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿」R8.7.1現在

※「届出受理医療機関名簿」から「在薬」の記載がある薬局を抽出したもの
※令和8年以前の公表データなし

在宅患者訪問薬剤管理指導料の算定回数（県全体）

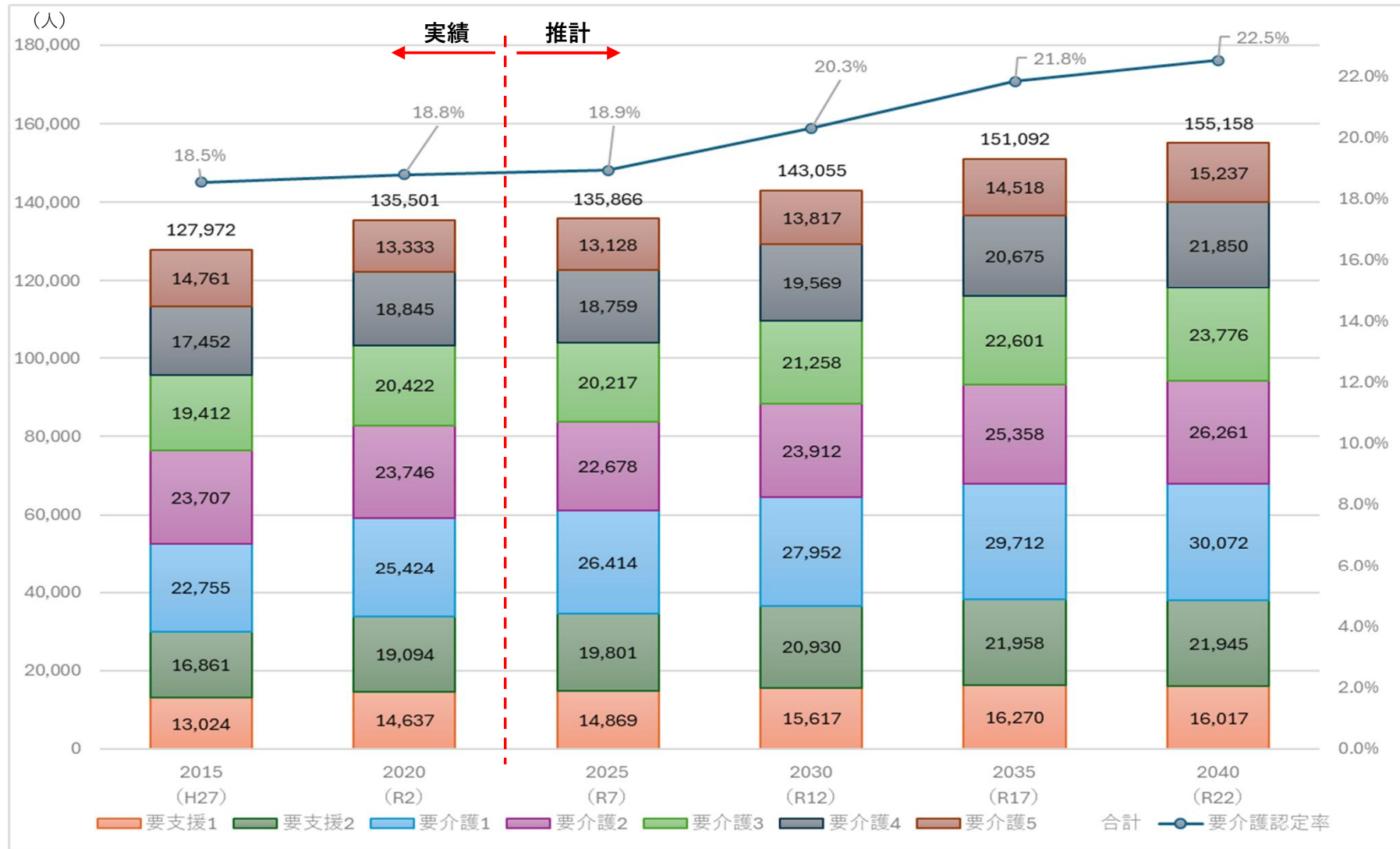


出典：厚労省「NDBオープンデータ」第7回～第11回

※各年度のNDBオープンデータから「在宅患者訪問薬剤管理指導料」を集計したもの

10. 本県の要介護（要支援）認定者数の実績と将来推計①（全県）

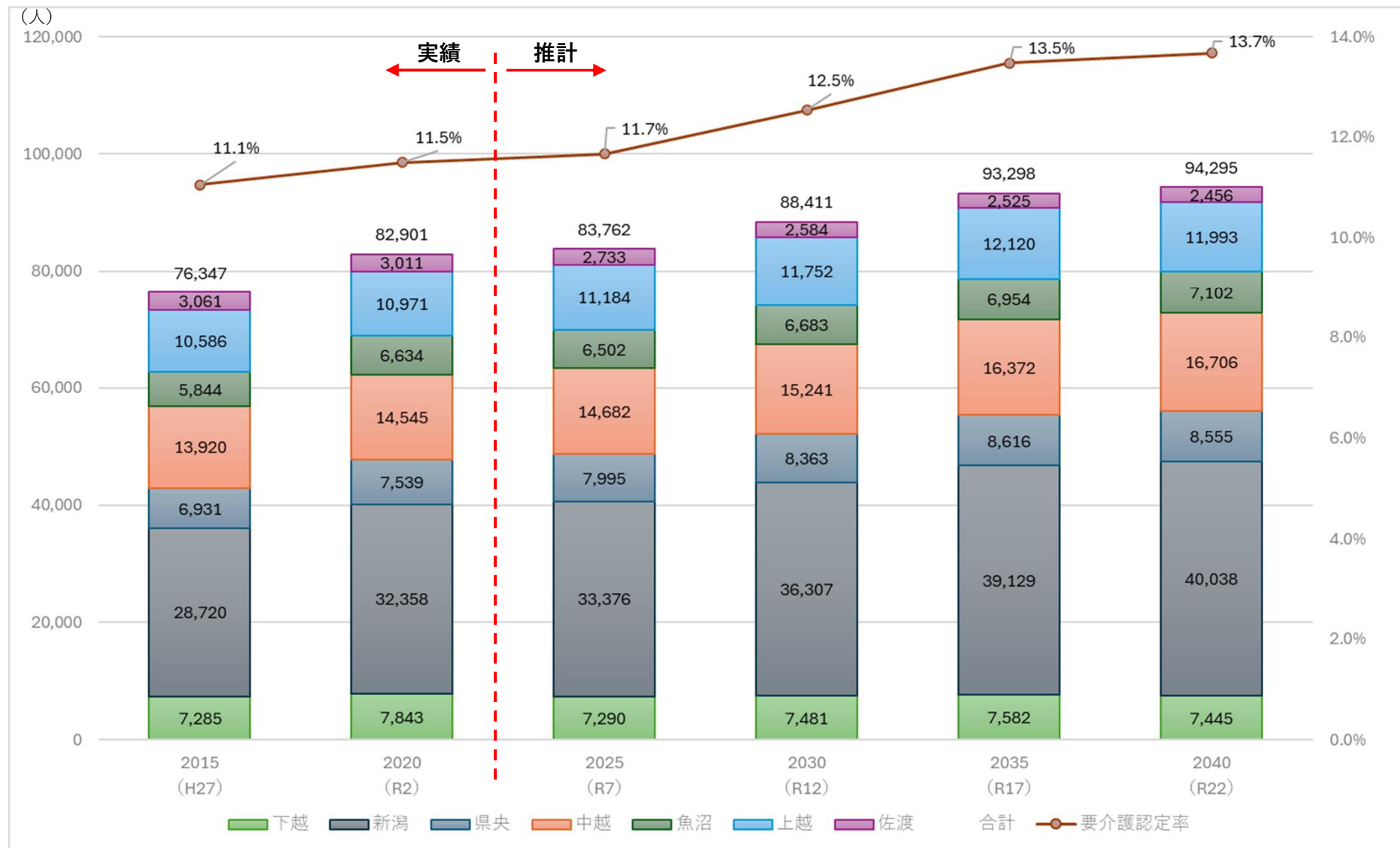
- 本県の要介護（要支援）認定者数は、今後85歳以上人口が増加する2040年頃まで増加することが見込まれる。
- 2040年以降は85歳以上人口の減少とともに、要介護（要支援）認定者数も減少していくと想定される。



出典：2015、2020年度 厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」
 2025年度～ 第9期新潟県高齢者保健福祉計画作成にあたっての推計値

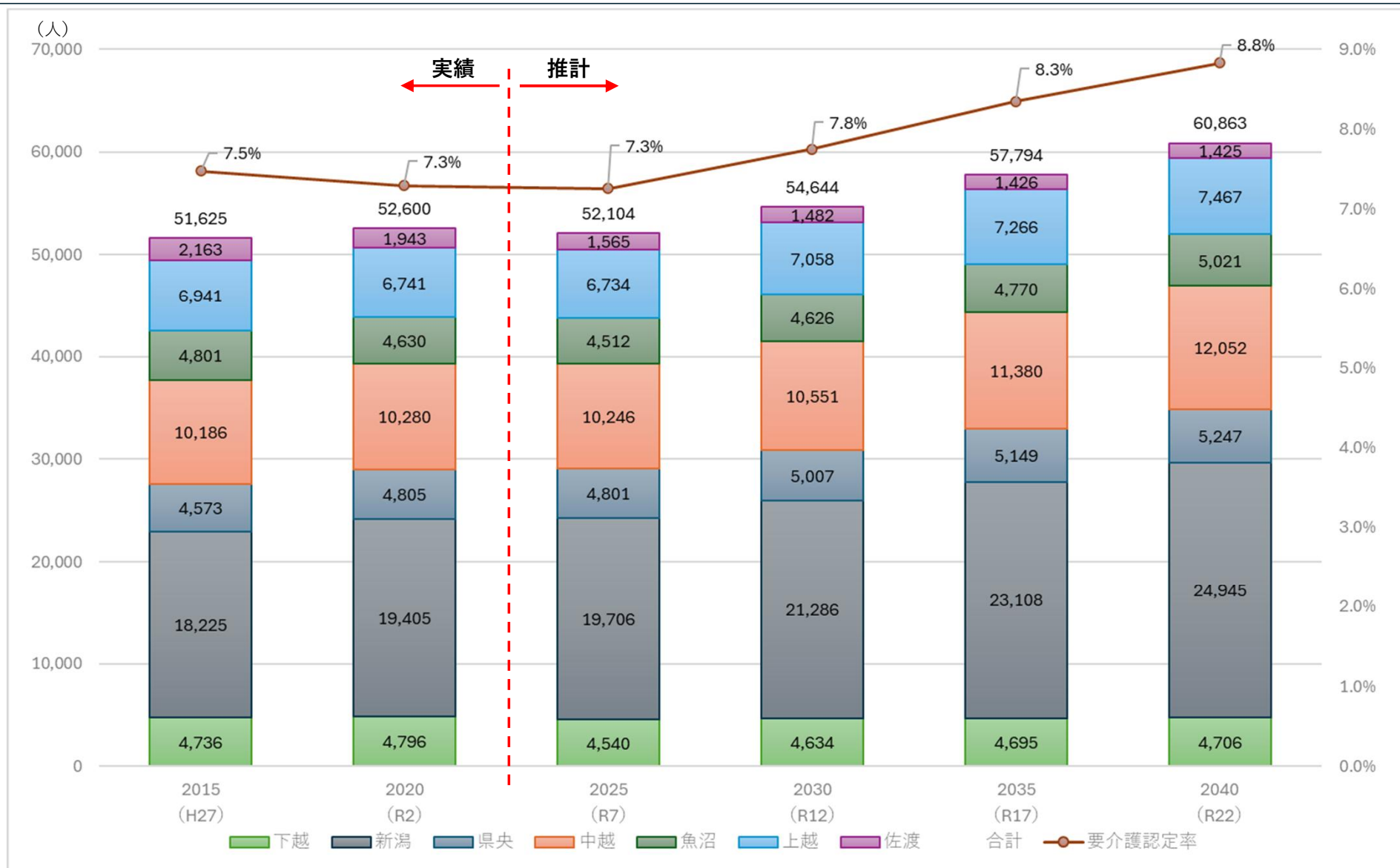
10.本県の要介護（要支援）認定者数の実績と将来推計②（圏域別・軽度認定者数）

- 本県の軽度（要支援１～２、要介護１～２）の認定者数は、今後85歳以上人口が増加する2040年頃まで増加することが見込まれる。



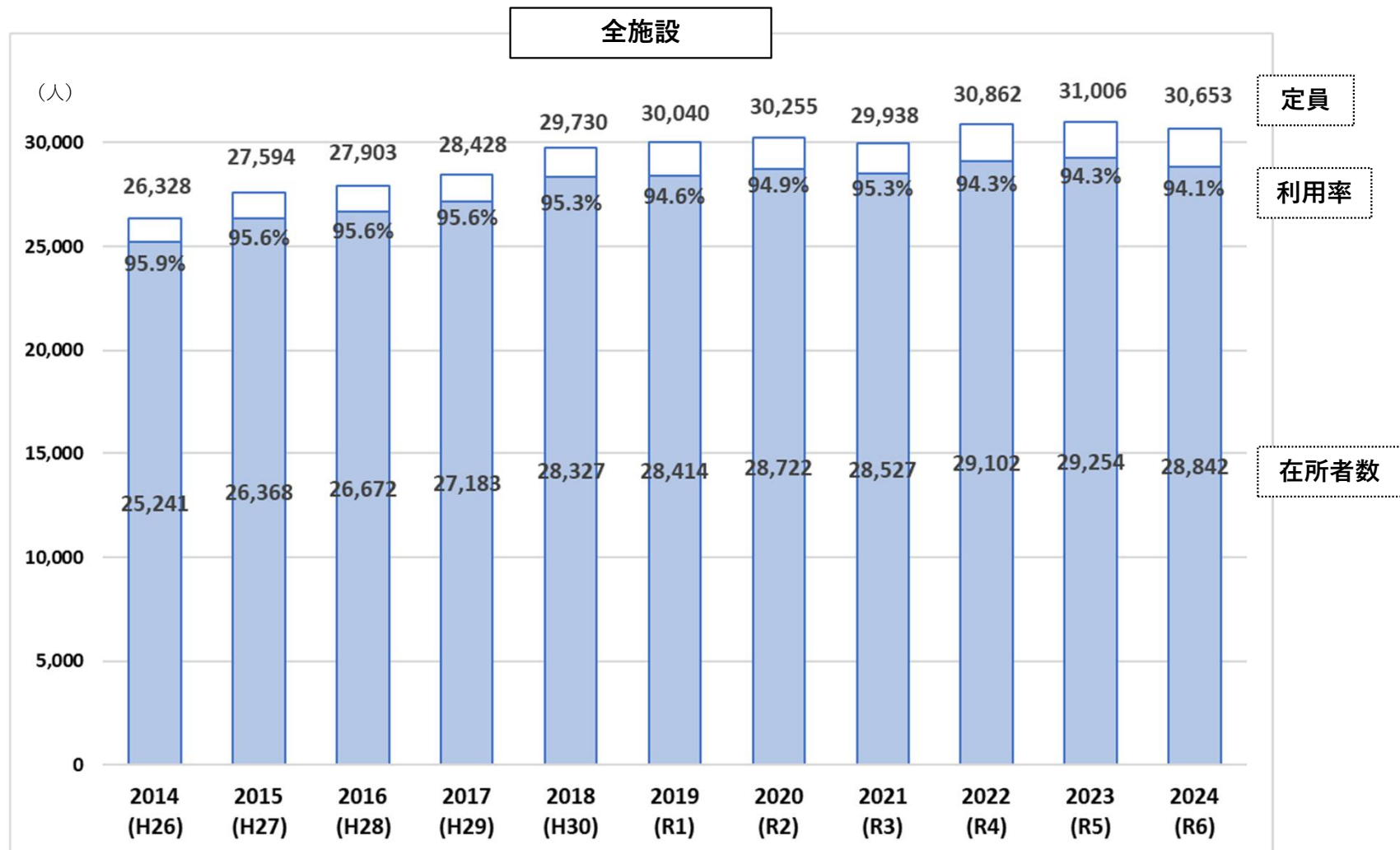
10.本県の要介護（要支援）認定者数の実績と将来推計③（圏域別・中重度認定者数）

- 本県の中重度（要介護3～5）の認定者数は、今後85歳以上人口が増加する2040年頃まで増加することが見込まれる。



11. 介護施設と定員と利用状況 (介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設)

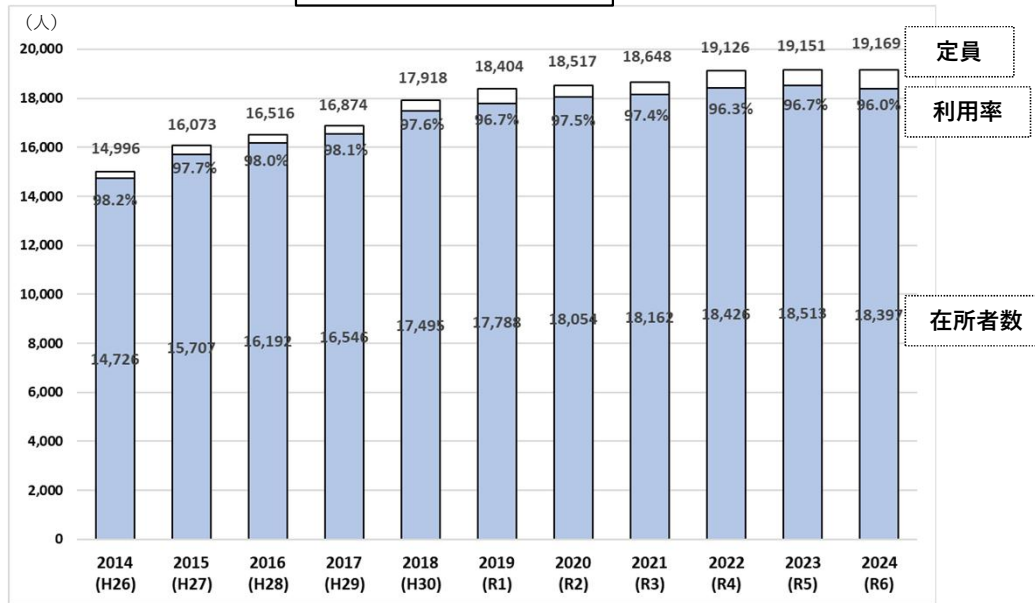
- 定員は増加傾向にあったが、近年は、概ね横ばいとなっている。
- 在所有者数についても、定員と同様に増加傾向にあったが、近年は、概ね横ばいとなっており、利用率はやや低下している。



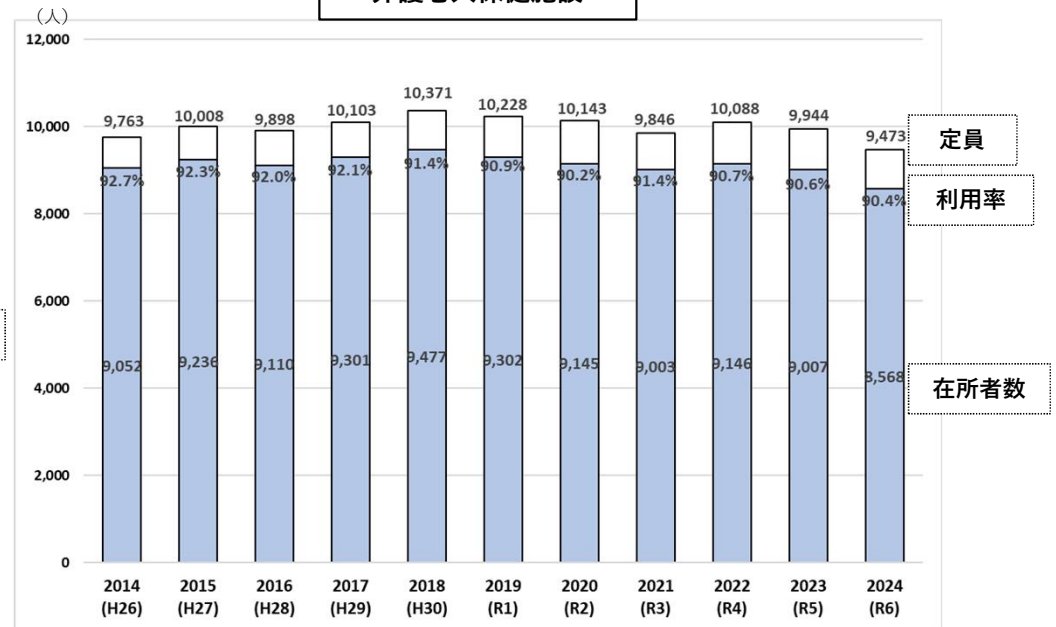
11. 介護施設と定員と利用状況 (介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設)

介護老人福祉施設

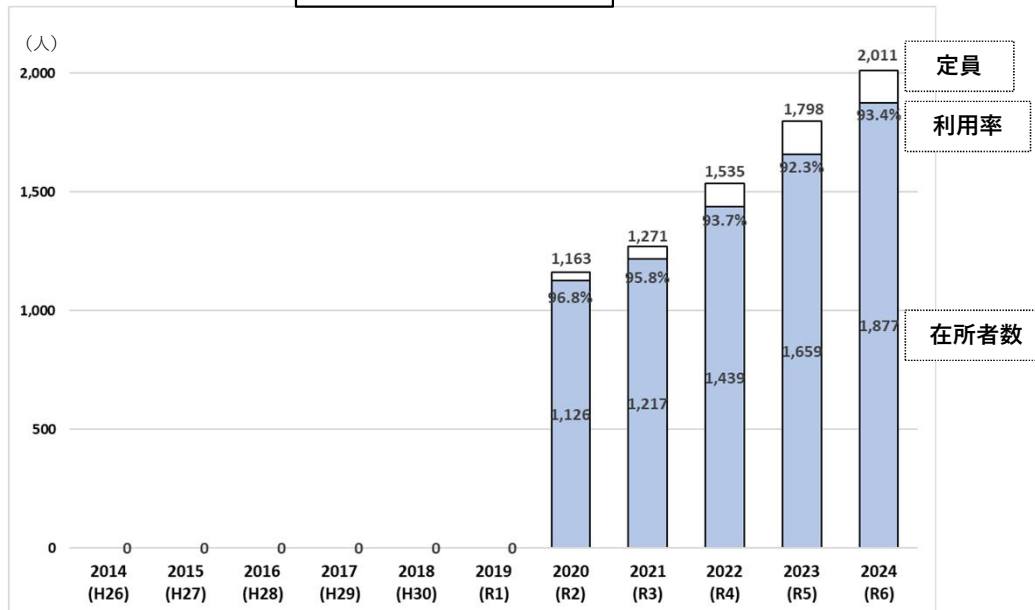
※地域密着型含む



介護老人保健施設



介護医療院



介護療養型医療施設

